

はじめに

安全でおいしい高品質な水の安定供給に努めるとともに、
豊かな地球環境を次世代に引き継げるよう、
環境負荷低減に向けた取組を推進してまいります。

水道事業と地球環境

水道事業は、地球が育んだ貴重かつ限りある水資源を事業の基本としており、地球環境と極めて深い関係にあります。このため、豊かな地球環境を次世代に引き継いでいくことは非常に重要です。

一方で、お客さまに水道水をお届けする過程で、都内で使用される電力量の約1%に相当する多量のエネルギーを消費する等、環境に対して少なからず影響を与えています。

また、平成27年9月に開催された国連サミットにおいて、2030年を年限とする17のゴールと169のターゲットからなる持続可能な開発目標(SDGs)が採択されました。SDGsは、先進国を含むすべての国々の共通目標であり、国家のみならず自治体レベルでの取組が期待されています。水道事業に関係する例としては、目標6に設定されているように、「水」は持続可能な世界を実現するためのゴールの一つとされています。

さらに、近年、気候変動がもたらす影響が深刻化し、河川の氾濫や土砂崩壊、水質悪化など、水道事業に対する大きな影響も懸念されます。事業を継続していくためには、環境負荷の低減は極めて重要な課題です。

平成27年に採択されたパリ協定では、産業革命以前からの気温上昇を2℃未満とする世界共通の

目標が掲げられました。平成30年には、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)から「1.5℃特別報告書」が発表され、1.5℃を超えないためには2050年前後のCO₂排出量が世界全体で実質ゼロとなる必要性が示されています。

令和3年に開催された第26回国連気候変動枠組条約締結国会議(COP26)では、世界の気温上昇を1.5℃に抑える目標に足並みをそろえ、CO₂排出量の実質ゼロに挑むことが強調されました。

東京都においても、令和元年5月に2050年のCO₂排出量実質ゼロに貢献する「ゼロエミッション東京」、令和3年1月に、都内の温室効果ガスを2030年までに50%削減する「カーボンハーフ」を宣言し、これまで以上に気候変動に取り組む姿勢を世界に示しました。令和3年3月には、都の総合戦略・計画である「『未来の東京』戦略」と「ゼロエミッション都庁行動計画」において、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの拡大、ZEVの導入、持続可能な資源利用の推進などを具体的取組事項に掲げ、脱炭素社会の実現を目指しています。

このような状況を踏まえ、私たち水道局も持続可能な水道事業の実現のために、積極的に環境対策に取り組んでいく使命を強く自覚しています。

環境施策の展開

私たちはこれまでも、定期的に環境計画を策定し、環境対策の取組を進めてきました。お客さまへの安定給水を大前提に、再生可能エネルギーの導入、水道水源林の保全、水資源の有効利用のほか、漏水防止対策等、幅広く施策を展開してまいりました。

令和2年3月には、「東京都水道局環境5か年計画2020-2024」を策定し、4つの基本方針「CO₂排出量の削減」「健全な水循環と豊かな緑の保全」「持続可能な資源利用」「多様な主体との環境コミュニケーション」を掲げ、目標達成に向けて、様々な取組を着実に推進しています。

お客さまとのコミュニケーション

水道事業に関わる環境負荷を低減し、環境計画の実効性を高めていくためには、お客さまの御理解と御協力が不可欠です。

そこで、水道局の環境への取組について、お客さまへの説明責任を果たすとともに、その声を可能な限り施策に反映させていくため、毎年、環境報告書を作成し、公表しています。

本報告書では、環境5か年計画の目標に対する取組状況と達成度を報告するとともに、計画推進の仕組みや環境保全に掛けたコストとその効果についても明らかにすることにより、水道局の環境施策を広く、分かりやすくお伝えすることを目指しました。

持続可能な水道事業に向けて

近年、集中豪雨や台風などの自然災害が猛威を振るい、安定給水に支障を来す事例も増えるなど水道事業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。こうした中、私たちは令和2年7月に持続可能な水道事業運営に向けた長期的な方針である「東京水道長期戦略構想2020」を策定しました。この長期戦略構想で掲げた目指すべき将来の姿を実現するため、令和3年3月、「東京水道経営プラン2021」及び「東京水道施設整備マスタープラン」を策定し、強靱で持続可能な水道システムの構築に向けて取組を進めています。

現在も、新型コロナウイルス感染症が引き続き社会経済活動に影響を与えているとともに、ウクライナ・ロシア情勢によるエネルギー安全保障という課題の顕在化、電力需給ひっ迫に伴うHTT（電力を減らす・創る・蓄める）の推進など、更なる事業環境の変化が生じています。

そうした中においても、お客さまの生活と首都東京の都市活動とを支える基幹ライフラインの担い手として、安全でおいしい高品質な水の安定供給に日々努めてまいります。さらに、持続可能な水道事業を目指し、豊かな地球環境を次世代に引き継いでいくことができるよう、環境負荷低減に向けた取組を職員一丸となって一層推進してまいります。

令和4年11月

東京都水道局長

古谷ひろみ